



No. 110

平成25年7月20日号

二輪車安全 普及協ニュース

Japan Motorcycle Safety Association News

発行所

一般社団法人
全国二輪車安全普及協会

編集・発行人 井内 正晴

〒164-0012
東京都中野区本町 2-28-11

TEL 03-3372-5156

ホームページ

<http://www.nifukyo.or.jp>

全国二普協、平成25年度定時総会を開催



一般社団法人全国二輪車安全普及協会（全国二普協）は5月13日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で「平成25年度定時総会」を開催した。

総会では、平成24年度事業報告及び決算、平成25年度事業計画及び収支予算、平成24年度公益目的支出計画実施報告及び同計画実施完了の確認申請、役員の選任について審議・承認した。

平成25年度事業計画では、①二輪車安全運転普及活動の推進、②二輪車防犯活動の推進、③広報

活動の推進、④表彰の実施、⑤個人情報の保護の徹底、⑥組織、実施事業等の見直しとそれに対応した的確な事業運営の推進——の6点を基本的な柱と定め、各種施策を推進することとした。

このうち、「二輪車安全運転普及活動の推進」では特に、パソコンやスマートフォンで原付試験問題にチャレンジできる“ゲンチャレサイト”で、新たに実技編を立ち上げて一層の利用促進を図っていくこととした。

◆目次◆

■平成25年度定時総会を開催

福井会長あいさつ	2
倉田潤警察庁交通局長祝辞	2
平成24年度事業報告／平成25年度事業計画	3
活動実績優秀県表彰	6
意見交換会あいさつ	7

■活動報告

- 1 グッドライダーミーティングの開催
- 2 安全運転講習会の活動紹介
- 3 免許取得支援活動の推進状況
- 4 グッドライダー防犯登録の実施状況

■DATA：盗難認知・被害回復／交通事故……………13



平成25年度定時総会あいさつ

G防登録率の向上に向けた対策の強化を

会長 福井 威夫

本日は、定時総会を開催しましたところ、ご多忙中にもかかわらずご出席をいただき、ありがとうございます。また、皆様には、平素から全国二普協の事業運営並びに諸活動に対しまして多大なるご理解とご支援、ご協力を賜っておりますことに、この機会をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

開会に当たり一言ご挨拶をさせていただきます。

まず、平成24年度中の事業活動を振り返ってみますと、安全運転普及活動におきましては、中核となっているGミーティングが、全国で103回開催され、いままでも未実施県であった4県も開催できたことにより、全県での展開を行うことができました。

こうしたGミーティングをはじめ、官民挙げての各種交通事故防止活動が全国で積極的に展開されたことにより、昨年の二輪車乗車中の事故死者数は788人で前年より63人減少いたしました。当協会といたしましては、今後も二輪車の交通事故防止のため、事故率の高い若年層や高齢者を対象に、これらの人が遭いやすい事故原因とその防止対策に重点を置いた安全運転講習会の開催に努めてまいります。

一方、防犯活動に関して見ますと、昨年の国内4社の新車出荷台数に対するG防犯登録率は、46.1%で前年を0.2ポイント下回る結果となっており、今後、G防

犯登録率の一層の向上に向け、対策をより一層強化していかなければと考えているところであります。

次に、協会運営につきましては、昨年4月1日に一般社団法人に移行いたしまして、公益目的支出計画を実施して参りましたが、本日も審議いただきます平成24年度決算において、予定どおり1年間で、この公益目的支出計画の実施が完了することが明らかとなりました。

本日の総会におきまして、平成24年度決算と併せて平成24年度公益目的支出計画の実施状況をご報告し、ご承認をいただきましたら、内閣総理大臣に対しまして、公益目的支出計画実施完了の確認を求める申請を行うこととしております。これによりまして、一般社団法人移行に伴う諸手続は終了することになります。

最後に、国内二輪市場は、ご承知のように依然として厳しい状況が続いており、二輪車の一層の普及と安全な利用の拡大に向け安全・防犯活動をはじめ各種二輪車対策のより積極的な展開が求められております。そのため、今後、関係団体とのより緊密な連携・協力体制を構築し、活動を推進させていただきたいと考えておりますので、皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。



平成25年度定時総会あいさつ

事故発生割合の高い年齢層に焦点を

警察庁交通局長 倉田 潤

ただいま、ご紹介を賜りました、警察庁で交通局長をいたしております倉田でございます。

全国二輪車安全普及協会の平成25年度定時総会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

貴協会が一般社団法人に移行されました1年が経過し、本年10月には貴協会を含め二輪車4団体が統合されると承知しております。

大きな事業を推進されているところでありますが、二輪車の交通安全と防犯対策につきまして、一方なら

ぬご尽力を賜っていることに対し、この場をお借りしまして、改めてお礼を申し上げる次第でございます。

ただいま、二輪車の交通安全とグッドライダー・防犯登録制度の普及促進に多大な貢献をされましたご功績により表彰をさせていただきました。

今回受賞されました山梨県、福島県をはじめ、各県の二輪車安全普及協会の皆様には、心からお祝いを申し上げます。

さて、ご案内のとおり昨年の交通事故につきまして

は、死者数が4,411人と12年連続の減少となり、交通事故発生件数及び負傷者数も8年連続で減少しておりますが、平成27年までに死者数を3,000人以下とする政府目標の達成に向け、一層の取り組みが必要と考えているところであります。

また、二輪車の交通事故の状況を見ますと、二輪車事故の死者数は788人と12年連続の減少となっておりますが、高齢化に伴い、高齢者の事故の割合が増えており、昨年は、高齢運転者による原付乗車中の死者数が162人と、原付事故の総死者数の半数近くを占めるに至っております。

このような状況を踏まえ、警察といたしましては、地域の交通事故実態を踏まえ、高齢者の交通死亡事故状況に着目した交通安全教育を推進するとともに、飲酒運転等悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に重点を

置いた交通違反の交通指導取締り等を強化していくこととしています。

申すまでもなく、交通安全活動は、警察のみならず関係機関・団体が緊密な連携をして、適正かつ積極的に行われ、総合的に推進されてこそ、この目的が達成されるものであります。

皆様方におかれましては、「グッドライダーミーティング」をはじめ、二輪車の交通事故防止活動を全国的に展開していただいているところでありますが、今後とも、高齢者を含め、事故発生割合の高い年齢層に焦点を当てた安全運転講習会の開催や安全指導につきましてご尽力いただきたいと思います。

おわりになりますが、貴協会の益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝を祈念申し上げまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

平成24年度事業報告（要旨）

1 二輪車安全運転普及活動

(1) 店頭個別安全指導活動の推進

- ・ 「バイクの安全な乗り方」のチラシ、冊子等を作成・配布し、グッドライダー宣言に沿った安全指導を徹底した。
- ・ 指導員がいる販売店を調査し、店頭掲示用に作成した「指導員在籍店の証」を3,575の販売店に配布し、その周知徹底を図った。

(2) 各種安全運転講習会の開催

ア Gミーティング

○ 開催状況

- ・ 46都道府県で103回開催。受講者数は3,808人。前年に比較し回数で9回、受講者数で495人増加した。
- ・ これまでGミーティングを実施してこなかった4県が開催し未実施県が解消した。

○ 推進状況

- ・ 参加者募集のための統一ポスター・チラシを作成し、全国に斡旋した。
- ・ 販売店店頭、ホームページ、普及協ニュース、全国専務理事会議等において、全国の実施状況を情報提供
- ・ 都道府県警察及び都道府県交通安全協会（都道府県二輪車安全運転推進委員会）と連携し、

協力を得て実施した。

- ・ 関東ブロック、徳島県、埼玉県、近畿合同の指導員研修会に講師を派遣した。
- ・ 全国統一の受講者アンケートを実施。全国96会場、2,820人の回答結果を分析し、全国専務理事会議等においてフィードバックした。

イ 高校生を対象とした安全運転講習

27県、239校において開催。受講者数は20,052人であった。

ウ その他の安全運転講習への協力、支援

都道府県警察や都道府県交通安全協会等が主催する各種安全運転講習に後援、協力した。30都道府県で421回、受講者数9,132人であった。

(3) 免許取得支援活動

- ・ ホームページで、原付免許受験に役立つ「バイクと法令」、「原付と安全運転」及び「原付試験問題集」を紹介した。
- ・ ホームページの「原付免許試験問題にチャレンジ」（通称、「ゲンチャレ」）サイトのチャレンジ数は、729,918人であった。
- ・ 原付免許受験に役立つ教材を近くの二輪車販売店から購入できる教本販売取扱店システムを構築、3月末現在の教本販売取扱店は759店となった。

(4) 第37回二輪車安全運転推進運動

- ・ 秋の全国交通安全運動の時期にあわせ、「交通ルール・マナーアップを重点とした安全運転の指導」を重点項目として、街頭点検指導をはじめ安全運転講習会等の活動を展開した。
- ・ ヘルメットの正しい着用とプロテクター着用の重要性を訴えたポスター13,300枚、バイクの安全な乗り方の小冊子37,000部、安全防犯チラシ20万枚を配付した。
- ・ 街頭点検の実施回数は58回、点検指導台数は2,467台、各種安全運転講習会の実施回数は135回、受講者数は4,931人であった。

(5) 関係機関との連携・協力

- 第45回二輪車安全運転全国大会への協力、支援
47都道府県、187名の選手が参加。後援団体として大会の実施、運営に参画するとともに各クラス個人優勝選手4人に、ボディプロテクター付ジャケットなどを贈呈した。
- 二推が実施する特別指導員・指導員の審査及び研修への協力
 - ・ 特別指導員中央研修会（2回）、特別指導員養成講習会及び特別指導員審査（1回）に講師を派遣した。県二普協は県二推が行う指導員審査に協力した。
 - ・ 新たな資格認定者は、特別指導員27人、指導員119人の合計146人。平成24年12月末現在の総数は、特別指導員2,215人、指導員7,026人の合計9,241人となっている。
- 関連団体イベントへの参画
 - ・ 東京モータサイクルショー、交通安全アクション2012（自動車会議所）に参画し、ゲンチャレ簡易版体験及びGミーティングへの参加の呼び掛けやG防登録加入促進等のチラシを配布し、当協会事業をPRした。

2 二輪車防犯活動

(1) G防犯登録の普及促進

- 登録状況
 - ・ 登録件数は、新車、中古車あわせて290,771件で、前年比9,867件減少した。
 - ・ 新車登録件数（国内4銘柄）は、185,393件で出荷台数比46.1%であった。
 - ・ 累計登録件数は、2,619,310件で保有台数比22.5%となっている。
- 登録加入促進状況
 - ・ 銘柄別、都道府県別G防犯新車登録計画を策定し、G防部会員（各販社担当者）を通じて、加入促進を要請した。
 - ・ ホームページでの広報、加入促進チラシを二輪車

関係イベント会場等で配布した。

- ・ 国内4メーカー販社及び県二普協への情報提供と加入促進の要請をした。
- ・ 登録制度の仕組みや記載例を印刷した、登録時に使用する下敷きを作成し、販売店に約6,000枚配布した。
- ・ 登録有効期限（7年）が迫ったユーザーのために再加入案内のダイレクトメールを作成し、四国ブロックの一部該当者に販売店から郵送した。
- G防犯登録の入力システムの改善
 - ・ 現場の警察官からの照会可能車両の幅を広げるため、車体番号入力フィールドの拡大、入力コードの増加、その他の機能を改善した。
 - ・ 個人情報の漏えい防止対策を強化するため、各県入力システムをバージョンアップし、ファイル暗号化システムも更新整備した。
 - ・ G防犯データー移送の安全と迅速化を図るため、警察庁への登録データーの送付を電送化した。

(2) 二輪車盗難照会システムの普及促進

- 加盟店数及び照会実施状況
 - ・ 平成24年12月末の加盟店数は3,246店。昨年の照会件数は1,182,534件であった。
 - ・ 平成17年8月の運用開始以降の照会累計件数は6,232,308件となっている。
- システムの普及促進状況
 - ・ 稼働歴のない49店に対し、システム運用を奨励する文書を発出した。
 - ・ 国内4メーカー販社に対し、新規加入促進への取り組みを要請。33店が加入した。
- 盗難データーの更新作業を自動化し、事務を効率化。

3 広報活動の推進

- ・ ホームページの登載内容の更新などを行い、常に協会活動の最新の情報を提供した。
- ・ 普及協ニュース、ポスター、チラシ等の広報媒体の作成、配布した。

4 表彰の実施

- ・ 活動実績優秀県表彰として、宮城県及び広島県二輪車安全普及協会に警察庁交通局長、同生活安全局長及び協会長の3者連名表彰を、千葉県、岡山県、富山県及び大阪府二輪車安全普及協会に協会長賞を授与した。
- ・ G防犯登録制度の推進に多大の貢献があった135の防犯登録推進優良販売店及び二輪車の安全普及と防犯活動の推進に多大の貢献があった38の優良地域団体に協

会長賞を授与した。

5 会議の開催状況

- ・ 定時総会、理事会、全国専務理事会議、運営委員会などを開催した。

6 個人情報の保護の徹底

- ・ G防入力業務を行っている県二普協に、G防システム

部長を派遣し、個人情報保護の状況を監査するとともに、G防入力に関する留意事項について指導した。

7 一般社団法人への移行後の諸手続きの推進

一般社団法人への移行後、法規制に従い公益目的支出計画を実施。計画通り1年で完了見込である。

平成25年度事業計画（要旨）

1 二輪車安全運転普及活動の推進

二輪車利用者の安全を確保し、二輪車が安全で楽しい便利な乗り物としてその利用が更に広がるよう、二輪車販売店、関係機関、団体と連携を図りながら次の諸活動を積極的に推進する。

(1) 店頭個別安全指導活動の推進

ア グッドライダー宣言に沿った安全指導の徹底

イ 二輪車安全運転指導員資格の取得促進

(2) 各種安全運転講習会の開催

ア グッドライダーミーティングの積極的な開催

- ・ 全県開催を図る
- ・ 警察庁及び各都道府県警察との緊密な連携と協力依頼
- ・ 高校生、女性、高齢者等対象者ごとに必要な講習の実施
- ・ グッドライダーミーティングが的確に実施されるよう、指導員研修会を開催
- ・ 全国統一アンケートによる実施要領の改善

イ 高校生等を対象とした安全運転講習会の積極的推進

ウ 地域二普協が実施する安全運転講習会への協力、支援

(3) 免許取得支援活動の推進

ア ホームページ、スマートフォン等を活用した免許取得方法や教材等の情報発信

イ 「原付試験問題にチャレンジ」サイトの一層の利用促進と実技編の安全運転ゲンチャレサイトの新規立ち上げ

ウ 「バイクと法令」「原付と安全運転」（警察庁監修）の利用促進

(4) 二輪車安全運転推進運動の実施

ア 街頭点検指導に併せた安全運転指導の実施

イ 「バイクの安全な乗り方」等を活用して店頭個別安全指導の実施

ウ ヘルメットの正しい着用とプロテクター装着指導の実施

エ ポスター、チラシ等を活用した広報啓発活動の実施

(5) 関係機関・団体との連携活動の推進

ア 第46回二輪車安全運転全国大会、同県予選大会への協力、支援

イ 二輪車安全運転特別指導員・指導員の審査及び研修への協力

ウ 各種交通安全運動及び講習会・イベント等への協力、支援

エ 二輪車の健全な利用環境の改善及び環境対策活動等への協力

2 二輪車防犯活動の推進

グッドライダー防犯登録及び盗難照会システムの普及促進を図り、盗難二輪車の早期発見と市場流通を防止し、被害回復及び二次犯罪の防止を図る。

(1) グッドライダー防犯登録の加入促進

ア グッドライダー防犯登録計画の策定と達成

イ 警察、二輪車メーカー、卸販社等への必要な協力要請

ウ 加入促進のため、分かりやすいパンフレット、チラシの作成、活用

エ グッドライダー防犯登録が加入しやすく、より効果的な制度となるよう意見、要望を吸い上げ、検討、改善

(2) 二輪車盗難照会システムの利用促進

システム未加入販売店等に対する加入促進

3 広報活動の推進

4 表彰の実施

5 個人情報の保護の徹底

6 組織、実施事業等の見直しとそれに対応した的確な事業運営の推進

山梨・福島両県に警察庁・全国二普協連名表彰 神奈川・広島・島根・愛媛には会長表彰

—平成24年度活動実績優秀県に対する表彰—



定時総会時に行われる「活動実施優秀県」に対する表彰。今年度は、特に優秀な実績を収めた山梨、福島両県に対して警察庁交通局長・生活安全局長・全国二普協会長の三者連名による表彰が行われた。また、これに準ずる実績を収めた神奈川・広島・島根・愛媛の4県に対しては、全国二輪車安全普及協会会長賞が授与された。

表彰式では、三者連名の表彰状を倉田警察庁交通局長が山梨・福島両県に授与するとともに、会長賞を福井会長が授与した。

最後に受賞県を代表して、山梨県二輪車安全普及協会の萩原公明会長が謝辞を述べた。

謝 辞

交通事故防止等に 今後積極的に取り組む

本日はグッドライダー防犯登録表彰式に当たり、栄えある受賞をいただき誠にありがとうございます。山梨県二輪車安全普及協会198会員を代表して、お礼の言葉を申し上げます。

私どもでは日ごろから、二輪車の安全運転講習会の推進に取り組むとともに、グッドライダー防犯登録制度や二輪車盗難情報照会システム等を通じて、盗難の予防と被害の早期回復を社会的責務として推進しているところであります。

また、この制度の実施に当たり、県警本部のご指導を賜るとともに、販売店の方々のご協力をいただきながら、グッドライダー防犯登録等各種事業を積極的に推進し、交通安全意識の高揚を働き



かけていきたいと思っております。

本日の受賞を契機として、安全意識の高揚と交通事故防止により一層積極的に取り組むことをお誓い申し上げ、甚だ簡単ではございますが、謝辞と致します。本日は誠にありがとうございます。

山梨県二輪車安全普及協会 会長 萩原公明

意見交換会あいさつ



安全運転啓蒙がますます重要に

日本自動車工業会二輪車特別委員会二輪車企画部会部会長 世古 俊晴

みなさんこんにちは。日本自動車工業会二輪車特別委員会二輪車企画部会部会長を勤めております世古と申します。本日は全国二輪車安全普及協会さんの意見交換会にお招きいただき、たいへんありがとうございます。本来ですと委員長の柳が一言挨拶を申し上げますべきですが、本日は自動車工業会でも定時総会が行われており、私が代わりにご挨拶申し上げます。

本日、全二普協さんの平成25年度の定時総会が無事成功されたということで、誠におめでとうございます。一般社団法人がスタートしてちょうど1年が経過しておりますが、ますます活動成果が高まっているとうかがっております。たいへん喜ばしいかぎりです。

さて、国内の二輪車の新車需要ですが、本年4ヵ月経ったところでございますが、全体で101.8%の前年伸長。うち、軽二輪車が前年比152.1%とたいへん好調に推移しております。アベノミクス効果もあるのではと思います。政府が6月に成長戦略を発表することになっておりますが、我々自動車工業会の所管省庁の経産省自動車課ともいろいろと今、活発に意見を交換しているところです。我々としては、国内の二輪車産業がより国際競争力の強化につながるような政策を入れていただけたらありがたい、と思っております。

次に自動車工業会の安全普及策について紹介します。

先ほど申しましたように、スポーツ市場のところで中高年ライダーや女性ライダーが拡大しております。市場が成熟化していると考えております。このような状況をさらに健全に育成を図っていくためには、やはり一方で安全運転啓蒙がたいへん重要な活動となっております。本年、自工会におきましては、従来から行っております原付通学許可高校に対する研修支援活動を全国6会場で展開する予定です。

さらには、高速道路における安全運転の普及に努めていきたいと考えています。具体的には、既に取りかかっていますが、東京モーターサイクルショーのステージイベントでプロライダーによる来場者への呼びかけ。パンフレットやVTRを作成して全国二普協さんにもご協力をいただき二輪販売店への配布。さらには、NEXCOの各社と連携してPAやSAでパンフ配布やVTRの放映を行うなど、いっそう力を入れていきたいと思っています。いつも申し上げますが、全国二普協さんや警察などの協力をいただくことでより成果が高まり、効果的になっていくと思いますので、今年も是非ご協力をお願いします。

最後になりますが、全国二普協さん並びにご出席の皆様方の益々のご活躍とご多幸を祈念申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

意見交換会あいさつ



皆様のエネルギーをこれからの力に

全日本交通安全協会専務理事 中澤 見山

全日本交通安全協会専務理事の中澤と申します。

本日は定時総会の議事を滞りなく終えられまして、誠におめでとうございます。また、表彰を受けられました各団体の皆様方にもお祝いを申し上げます。

ご参会の皆様方には、私どもだけでなく、全国の交通安全協会がたいへんお世話になっております。これについても改めてお礼を申し上げます。

先ほど総会等でお話しをうかがって、二普協は各種事業を着々と進めておられ、そしてまた一般法人の移

行後は、早々と公益目的支出計画を完了させて、そしてこの秋には組織の統合の準備を進められているということで、非常に勢いがあり、頼もしく感じているところです。

私どもも皆様方のエネルギーを吸収させていただいて、これからの自分の仕事の力とさせていただきたいと思っています。

ご出席の皆様方のご健勝と当協会のますますのご発展を祈念いたします。

活動報告

1 グッドライダーミーティングの開催

**全県開催を達成し、導入8年目となる本年度
更なる充実に向け各県で始動開始！！**

全国統一の広報ポスター、チラシによる一体感、認知度の向上に向け、全国 39 県でアピール

本年度は、全国47県全県で、年間計画107回（前年実績は103回）、動員目標4,760人（前年実績は3,808人）を予定し、期首の4月より、全国各地で精力的に展開しています。

また、過去、千葉県だけ開催実績があった女性対象のレディースミーティングも、新たに、東京都、大阪府で実施が計画されております。6月21日現在の全国の開催状況は、降雨等により一部中止がありましたが、回数は37回（計画比35%）、動員人数は1,480人（計画比31%）と、概ね順調に実施されております。

グッドライダーミーティングは、表にも記載のとおり、都道府県警察のご指導と都道府県交通安全協会（二推）との連携・協力により実施されております。今後とも関係機関とより緊密な連携協力により一層の推進を図っていきます。



平成25年度Gミーティング県別開催計画・実績

平成25年6月21日

二推協	開催計画	動員目標	開催実績	中止	動員実績	内女性	指導員数	警察数	白バイ	二推協数	安協数	二推協	開催計画	動員目標	開催実績	中止	動員実績	内女性	指導員数	警察数	白バイ	二推協数	安協数
北海道	6	300	2	1	127	23	20			2	4	滋賀	1	40									
青森	1	35										京都	2	80	1		30	4	5	1	1	3	3
岩手	3	90	1		53	12	11			1	1	大阪	11	890	4		253	39	34	2		14	7
宮城	4	160	1	1	27	6	10		2	1	1	兵庫	2	100	1		41	7	8	2	3	3	2
秋田	1	25										奈良	2	100	1		33	5	5	1	2	3	2
山形	1	30	1		32	6	10		3	4	2	和歌山	2	100									
福島	1	30										鳥取	1	30		1							
東京	5	230	2		89	11	27	4	2	2		島根	1	50	1		46	6	6			1	3
茨城	2	90	1		45	5	14	4	2	2	1	岡山	1	30	1		38	7	10			1	5
栃木	2	100	1		38	5	15	2	2	1	3	広島	3	120	2		80	12	20	2	4	3	10
群馬	2	120	1		36	7	11	2	7	2	12	山口	1	30									
埼玉	4	240	1		47	10	14	10	2	2	1	徳島	1	30									
千葉	6	330	1		81	15	20	2	3	2	3	香川	1	30									
神奈川	5	180	2		69	13	28	1	6	3	2	愛媛	1	50									
新潟	2	120										高知	1	30									
山梨	4	150	2		41	9	18		2	5		福岡	1	30									
長野	2	75	2		57	7	20	5	4	3	2	佐賀	1	20									
静岡	2	100	1		39	1	9	2	5	3		長崎	1	20	1		25	3	15		3	2	
富山	2	100	1		32	3	8			1		熊本	2	40									
石川	1	30										大分	7	150	3		59	5	19		4	7	1
福井	1	30										宮崎	1	20									
岐阜	1	50	1		38	8	8			3		鹿児島	1	20									
愛知	2	65	1		24	2	7			3		沖縄	1	30									
三重	1	40										合計	107	4,760	37	3	1,480	231	372	40	57	77	66
レディース開催：千葉、東京、大阪												計画比			35%		31%						
												前年比			36%		39%						

■講習主眼の再確認：「グッドライダーミーティング指導マニュアル抜粋」

この講習は、参加体験型の内容を積極的に取り入れています。安全運転講習として安全行動そのものを指導するのではなく、講習全体を通して一般的な実技訓練の体験から自己の技量を把握してもらいます。その上で一般道に潜む危険要素を投げかけることにより、受講者が自らの意思で安全行動を意識するようにカリキュラムを作成しました。

有効な動機付けを行うには、指導に係わる皆様が一丸となり受講者の規範に訴えかけることが重要です。実技指導の節目に行う「安全を意識させる問いかけ」が歯車となり、単なる実技訓練が「効果的な安全教育」へと変化いたします。

この講習の普及により、悲惨な交通事故が一件でも減少することを願います

開催風景

愛知

4月6日(土)
運転免許試験場



茨城

4月13日(土)
運転免許センター



島根

4月13日(土)
運転免許センター



大分

4月21日(日)
運転免許センター



大阪

4月29日(祝)
関自動車学校



札幌

5月19日(日)
運転免許センター



岩手

5月26日(日)
運転免許試験場



2 安全運転講習会の活動紹介

二輪車シミュレーターを活用した全国初の試み

愛媛県二普協 ～高齢者・指導員・高校生対象～

愛媛県二輪車安全普及協会は、県内交通死亡事故抑止「アンダー50」と高齢者交通死亡事故「アンダー30」に寄与するため、全国初の試みとして二輪車シミュレーターを活用した高齢者講習会、県内指導員研修会及び高校生安全運転講習会を企画、開催しました。

○3月10日～高齢者講習会・指導員研修会

県警察、交通安全協会、四国ブロック二普協等関係者協力のもと、東温市上林地区の高齢者34名に対し、同機材を使用した講習会を開催し「安全・手軽に路上の危険を体験できる安全運転を体得する」「危険予知・危険予測を高め運転行動を客観的に見直しを図る」ことを主眼とした交通安全意識の向上を図りました。講習は、当日シミュレーター体験をした代表6名の方以外の方も、講師とのコミュニケーションを通して、体験者と同様の感覚を共有し動機付けが図られました。

引き続き、県内指導員10名に対して同シミュレーターの活用方法を体験習得させ、今後の安全運転講習会への活用の機会に備えるという目的で指導員研修会を実施しました。指導員は、危険予知・予測トレーニングを指導員と受講者を想定したロールプレイング等、指導方法を熱心に受講しました。同シミュレーターについては、県教育委員会を含め、愛媛県内の交通安全を推進する関係者の間では、これを活用した安全運転講習会実施の合意形成がなされ、すでに高校生対象講習会への活用が動き出しております。

○6月13日：高校生安全運転講習会

講習会は、主催：学校法人河原学園未来高等学校、共催：愛媛県二輪車安全普及協会、四国二輪車協会、後援：松山東警察署、松山東交通安全協会、協力：県内特別指導員2名のもとで開催されました。受講者は、1年～3年生から23名（女子11名）。

当日は、推薦された県内指導員2名の指導を受け、模擬走行から危険予知・予測を体験することにより、混



高齢者講習会



指導員研修会



高校生講習会

合交通の中で、歩行者、自転車、二輪車、四輪車が相互に理解することの重要性を学びました。全員が熱心に体験し、和やかな雰囲気の中で好評のうちに終了しました。

学校・関係者からは、今後も継続して前向きに取り組むたいとの好評をいただきました。

今後も、伊予高校、伊予農業高校合同（6月）、介護企業1社（7月）、松山商業、工業、北高校合同（8月）で開催が計画されています。

全国的な広がりに期待が膨らむ良い講習会となりました。

平成25年度高校生安全運転講習計画

全国二普協調べ

No	県二普協	計画		No	県二普協	計画		No	県二普協	計画	
		回数	高校数			回数	高校数			回数	高校数
1	青森	1	1	11	山梨	13	13	21	香川	1	1
2	岩手	2	2	12	静岡	24	24	22	愛媛	10	14
3	宮城	8	8	13	愛知	3	3	23	高知	19	19
4	山形	2	2	14	大阪	1	1	24	福岡	10	10
5	東京	1	1	15	奈良	1	1	25	長崎	10	10
6	栃木	32	42	16	島根	1	1	26	熊本	9	9
7	群馬	2	2	17	岡山	1	1	27	宮崎	1	1
8	埼玉	4	4	18	広島	3	3	28	鹿児島	42	46
9	千葉	1	1	19	山口	6	6	合 計		222	240
10	神奈川	9	9	20	徳島	5	5				

3 免許取得支援活動の推進状況

「ゲンチャレ」サイト 開設2年目も好調を継続!!

運転免許を取得しようとする時点での交通安全教育は、大きな効果が期待できることから、必要な情報を提供して免許取得を支援し、ルールとマナーを重んじるグッドライダーの育成を推進するための、適齢者をメインとしたモバイルコンテンツ「ゲンチャレ」(ホ

ームページ、スマートフォン、携帯電話) サイトは、開設2年目に入り順調に推移しています。

開設後2年目に入った訪問者の推移は、今年3月の全ページ訪問者が133,016人(前年比297%)、内ゲンチャレ訪問者が100,556人(同327%)と開設以来最高アクセス記録し、3月～5月までの前年比較では、全ページ訪問者224%、ゲンチャレ訪問者249%と認知度、活用度は更に上がっております。

ゲンチャレチャレンジ数は、4月～5月の年度比較累計では、前年比170%と活況を呈しており、内、16～20歳の適齢者層が約7割を占めています。

サイトの活用度が増すことで、原付免許取得の機会



を創出し、更に、交通安全教育の効果の側面も期待できると考えられます。

新たな試みとして、ツイッターに1月から「ゲンチャレ君」をデビューさせ、1日1間の交通ルールを出題しています。現在、フォロワー（ゲンチャレ君ファン）は100人を超え、個人ブログに反響が増幅しており、フェイスブックとともにその波及効果が期待されます。

関連情報として、安全運転に役立つ書籍（バイクと法令）（原付試験問題集）の取扱店一覧をリニューアルして、全国ブロック毎に分りやすく会員販売店様を紹介しています。6月21日現在のお取扱店数は838店まで拡大しており、お客様窓口として販売店ブログのアピール等、訪問者とのコミュニケーション強化に繋がっております。

ゲンチャレ チャレンジ数 2013.04.01～2013.05.31



世代別	～15歳	16～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	合計	男	女
平成24年度	2,676	45,047	11,172	4,401	2,826	1,198	585	67,905	48,052	19,853
平成25年度	3,630	76,522	18,713	8,031	4,727	2,138	997	114,758	80,975	33,783
前年同月比	136%	170%	167%	182%	167%	178%	170%	169%	169%	170%
構成比	3%	67%	16%	7%	4%	2%	1%	100%	71%	29%

教本取扱店県別出荷一覧

平成25年6月21日現在

区 分					販売店 計					バイクと 法令					原付試験 問題集					教本計																																																																																				
北海道					札幌	5	25	25	50	近 畿					滋 賀	4	20	20	40	近 畿					京 都	25	125	125	250	近 畿					大 阪	46	190	190	380	近 畿					兵 庫	28	130	145	275	近 畿					奈 良	21	105	105	210	近 畿					和 歌 山	8	40	40	80	近 畿					計	132	610	625	1235																									
東 北	青 森				5	25	25	50	東 北	岩 手				8	40	45	85	東 北	宮 城				15	95	95	190	東 北	秋 田				3	35	35	70	東 北	山 形				7	40	35	75	東 北	福 島				12	60	60	120	東 北	計				50	295	295	590																																										
	東 京				79	320	410	730		関 東	茨 城				13	85	90		175	関 東	栃 木				10	55		55	110	関 東	群 馬				19		95	95	190	関 東	埼 玉					55	245	275	520	関 東	千 葉				47	225	255	480	関 東	神 奈 川				53	270	305	575	関 東	新 潟				11	65	65	130	関 東	山 梨				28	140	140	280	関 東	長 野				28	140	135	275	関 東	計				343	1,640	1,825	3,465	
	静 岡				40	195	200	395			中 部	富 山				4	15		20		35	中 部	石 川					1	5		5	10	中 部	福 井				5	25		25	50	中 部	岐 阜				1	5		5	10	中 部		愛 知					24	95	120	215	中 部	三 重				8	40	35	75	中 部	計				83	380	410	790																							
	計				83	380	410	790				中 部	計				111		660		655		1315	中 部	計				838		4,136	4,373		8,509																																																																						



4 グッドライダー防犯登録の実施状況

— 累計258万件、保有台数比22.6% —
登録率を向上させるための方策推進が急務

(一社)全国二輪車安全普及協会
(平成25年6月末)

都道府県	H25.1月～ H25.5月 出荷台数 A	H24年3月末 保有台数 B	H24年12月末 7年満期削除済 C	H25年 6月 D	登録		削除		累計	
					H25.1月～ H25.6月 E	出荷台数 比(E/A)	H17年 6月 F	H17.1月～ H17.6月 G	H(C+E-G)	H24年保有 台数比(H/B)
北海道	1,533	205,921	12,304	172	596	38.9	156	897	12,003	5.8
青森県	536	82,255	10,922	101	493	92.0	209	843	10,572	12.9
岩手県	724	101,272	9,439	88	469	64.8	157	911	8,997	8.9
宮城県	2,635	175,516	55,378	561	3,362	127.6	531	3,806	54,934	31.3
秋田県	291	57,000	3,119	38	171	58.8	43	215	3,075	5.4
山形県	426	78,706	6,989	96	366	85.9	117	534	6,821	8.7
福島県	1,096	144,583	10,621	126	653	59.6	158	812	10,462	7.2
東北計	5,708	639,332	96,468	1,010	5,514	96.6	1,215	7,121	94,861	14.8
東京都	20,739	974,189	249,094	2,042	12,343	59.5	3,812	19,186	242,251	24.9
茨城県	2,271	239,433	26,821	259	1,678	73.9	200	1,306	27,193	11.4
栃木県	1,605	166,860	15,114	151	876	54.6	164	1,160	14,830	8.9
群馬県	1,393	159,564	16,404	193	1,077	77.3	219	1,213	16,268	10.2
埼玉県	9,510	571,557	170,230	1,289	7,887	82.9	2,088	12,179	165,938	29.0
千葉県	7,473	476,039	75,131	680	4,377	58.6	724	4,941	74,567	15.7
神奈川県	15,609	933,468	185,069	1,606	10,037	64.3	1,822	11,394	183,712	19.7
新潟県	1,025	181,185	11,105	131	574	56.0	205	795	10,884	6.0
山梨県	1,267	112,571	36,750	307	2,216	174.9	336	2,153	36,813	32.7
長野県	1,377	197,041	25,158	201	1,292	93.8	532	2,227	24,223	12.3
関東計	62,269	4,011,907	810,876	6,859	42,357	68.0	10,102	56,554	796,679	19.9
静岡県	6,503	432,308	50,848	460	3,453	53.1	483	2,783	51,518	11.9
富山県	388	53,275	4,230	41	313	80.7	76	235	4,308	8.1
石川県	577	62,819	6,363	43	305	52.9	106	556	6,112	9.7
福井県	396	40,097	5,588	73	283	71.5	116	418	5,453	13.6
岐阜県	1,052	120,960	7,876	63	490	46.6	52	235	8,131	6.7
愛知県	7,669	501,121	86,230	879	5,652	73.7	723	3,452	88,430	17.6
三重県	2,104	178,786	33,978	333	1,869	88.8	518	2,907	32,940	18.4
中部計	18,689	1,389,366	195,113	1,892	12,365	66.2	2,074	10,586	196,892	14.2
滋賀県	1,518	129,864	47,625	366	2,479	163.3	694	3,645	46,459	35.8
京都府	7,265	388,913	118,199	1,369	7,261	99.9	1,775	7,819	117,641	30.2
大阪府	20,061	966,547	388,573	3,107	21,616	107.8	6,130	28,213	381,976	39.5
兵庫県	8,269	610,852	117,589	1,329	7,932	95.9	480	2,454	123,067	20.1
奈良県	2,333	189,175	23,029	179	1,283	55.0	338	2,038	22,274	11.8
和歌山県	3,354	202,198	43,629	324	2,512	74.9	721	3,770	42,371	21.0
近畿計	42,800	2,487,549	738,644	6,674	43,083	100.7	10,138	47,939	733,788	29.5
鳥取県	265	31,747	7,531	55	288	108.7	137	642	7,177	22.6
島根県	488	49,961	19,145	150	783	160.5	298	1,419	18,509	37.0
岡山県	2,643	194,065	90,971	738	4,593	173.8	1,340	7,106	88,458	45.6
広島県	6,412	357,848	253,852	2,180	13,340	208.0	3,293	19,708	247,484	69.2
山口県	1,480	114,546	44,974	462	2,249	152.0	686	2,994	44,229	38.6
中国計	11,288	748,167	416,473	3,585	21,253	188.3	5,754	31,869	405,857	54.2
徳島県	1,061	85,754	11,794	107	709	66.8	123	661	11,842	13.8
香川県	1,615	119,382	9,369	133	1,042	64.5	56	276	10,135	8.5
愛媛県	4,332	222,632	116,096	989	6,463	149.2	1,480	8,602	113,957	51.2
高知県	1,689	112,747	28,800	177	1,501	88.9	305	2,082	28,219	25.0
四国計	8,697	540,515	166,059	1,406	9,715	111.7	1,964	11,621	164,153	30.4
福岡県	5,904	412,077	50,885	487	3,226	54.6	618	2,958	51,153	12.4
佐賀県	431	66,970	1,861	5	48	11.1	17	89	1,820	2.7
長崎県	2,092	161,197	10,829	60	449	21.5	182	934	10,344	6.4
熊本県	3,299	192,889	38,549	404	2,663	80.7	422	2,872	38,340	19.9
大分県	1,467	114,809	13,145	150	907	61.8	154	868	13,184	11.5
宮崎県	1,181	98,775	11,768	85	712	60.3	177	882	11,598	11.7
鹿児島県	2,833	198,451	36,713	208	1,476	52.1	855	3,781	34,408	17.3
沖縄県	2,389	166,877	19,624	191	1,237	51.8	81	573	20,288	12.2
九州計	19,596	1,412,045	183,374	1,590	10,718	54.7	2,506	12,957	181,135	12.8
全国計	170,580	11,434,802	2,619,311	23,188	145,601	85.4	33,909	179,544	2,585,368	22.6

二輪車盗難件数、前年比11.6%減 —被害回復率45.3%、27県で回復率アップ—

(平成25年6月末／警察庁資料)

盗難認知／被害回復状況

(一社)全国二輪車安全普及協会

都道府県	G防普及率 H25年6月	(年間比較)			<警察庁情報>			(前年同期間比較)		
		平成23年	平成24年	平成25年	平成23年	平成24年	平成25年	平成23年	平成24年	平成25年
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率
北海道	5.8	352	209	59.4	370	236	63.8	110	48	43.6
青森県	12.9	33	17	51.5	21	10	47.6	6	3	50.0
岩手県	8.9	39	9	23.1	39	14	35.9	3	7	233.3
宮城県	31.3	618	298	48.2	455	247	54.3	243	140	57.6
秋田県	5.4	15	11	73.3	13	10	76.9	2	1	50.0
山形県	8.7	54	24	44.4	46	23	50.0	17	2	11.8
福島県	7.2	200	130	65.0	162	94	58.0	36	21	58.3
東北計	14.8	959	489	51.0	736	398	54.1	307	174	56.7
東京都	24.9	6,429	1,839	28.6	5,023	1,647	32.8	2,180	753	34.5
茨城県	11.4	1,690	301	17.8	1,624	196	12.1	564	127	22.5
栃木県	8.9	372	49	13.2	413	57	13.8	179	29	16.2
群馬県	10.2	569	218	38.3	586	197	33.6	250	87	34.8
埼玉県	29.0	4,658	909	19.5	4,096	863	21.1	1,532	348	22.7
千葉県	15.7	3,105	1,297	41.8	3,051	1,068	35.0	1,444	585	40.5
神奈川県	19.7	7,151	3,202	44.8	5,838	2,949	50.5	2,500	1,234	49.4
新潟県	6.0	148	57	38.5	124	56	45.2	52	13	25.0
山梨県	32.7	770	352	45.7	819	389	47.5	403	202	50.1
長野県	12.3	176	86	48.9	174	89	51.1	114	64	56.1
関東計	19.9	25,068	8,310	33.1	21,748	7,511	34.5	9,218	3,442	37.3
静岡県	11.9	1,394	818	58.7	1,049	635	60.5	488	354	72.5
富山県	8.1	67	47	70.1	71	38	53.5	28	22	78.6
石川県	9.7	103	68	66.0	95	31	32.6	25	18	72.0
福井県	13.6	124	77	62.1	89	42	47.2	65	22	33.8
岐阜県	6.7	586	333	56.8	711	446	62.7	331	207	62.5
愛知県	17.6	3,878	933	24.1	3,366	930	27.6	1,639	470	28.7
三重県	18.4	874	421	48.2	845	481	56.9	467	200	42.8
中部計	14.2	7,026	2,697	38.4	6,226	2,603	41.8	3,043	1,293	42.5
滋賀県	35.8	622	177	28.5	573	213	37.2	348	116	33.3
京都府	30.2	2,975	1,302	43.8	2,219	1,137	51.2	949	468	49.3
大阪府	39.5	8,707	3,266	37.5	7,648	2,938	38.4	3,014	1,197	39.7
兵庫県	20.1	5,060	1,804	35.7	4,889	2,055	42.0	2,015	966	47.9
奈良県	11.8	828	374	45.2	729	392	53.8	334	204	61.1
和歌山県	21.0	457	215	47.0	429	202	47.1	208	90	43.3
近畿計	29.5	18,649	7,138	38.3	16,487	6,937	42.1	6,868	3,041	44.3
鳥取県	22.6	60	34	56.7	34	35	102.9	17	10	58.8
島根県	37.0	35	23	65.7	22	21	95.5	3	5	166.7
岡山県	45.6	1,675	1,035	61.8	1,465	946	64.6	598	437	73.1
広島県	69.2	1,190	765	64.3	1,080	683	63.2	419	262	62.5
山口県	38.6	189	78	41.3	230	102	44.3	62	32	51.6
中国計	54.2	3,149	1,935	61.4	2,831	1,787	63.1	1,099	746	67.9
徳島県	13.8	130	84	64.6	108	51	47.2	68	35	51.5
香川県	8.5	572	268	46.9	484	260	53.7	199	94	47.2
愛媛県	51.2	1,140	401	35.2	932	278	29.8	453	156	34.4
高知県	25.0	320	204	63.8	253	158	62.5	135	83	61.5
四国計	30.4	2,162	957	44.3	1,777	747	42.0	855	368	43.0
福岡県	12.4	7,066	4,411	62.4	6,399	4,012	62.7	2,458	1,600	65.1
佐賀県	2.7	340	235	69.1	203	141	69.5	147	98	66.7
長崎県	6.4	192	133	69.3	150	89	59.3	90	52	57.8
熊本県	19.9	584	381	65.2	783	572	73.1	243	215	88.5
大分県	11.5	399	219	54.9	363	178	49.0	168	91	54.2
宮崎県	11.7	126	68	54.0	166	88	53.0	61	28	45.9
鹿児島県	17.3	444	270	60.8	347	283	81.6	150	90	60.0
沖縄県	12.2	1,260	389	30.9	883	260	29.4	405	142	35.1
九州計	12.8	10,411	6,106	58.6	9,294	5,623	60.5	3,722	2,316	62.2
全国計	22.6	67,776	27,841	41.1	59,469	25,842	43.5	25,222	11,428	45.3

(注) G・防普及率
5月末G防累計件数
H24年3月保有台数

<H23対H24比較>

①盗難認知件数 -8,307 -12.3%

・前年同期間比較 ①認知件数 -3,322 -11.6%

②認知件数の増減(県の数)

③回復率の増減(県の数)

県数
認知増減数
認知減減数
計

県数
回復率ダウン
回復率アップ
計

(参考) 6月末の交通事故死者数は、前年比70人増

— 二輪車乗車中は11人増 —

(平成25年6月末／警察庁資料)

	自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全 死 者 数		
	25年 6月末	増減数	24年 6月末	25年 6月末	増減数	24年 6月末	25年 6月末	増減数	24年 6月末	25年 6月末	増減数	24年 6月末
北海道	7	4	3	0	-3	3	7	1	6	66	-16	82
東 北	青森	1	1	0	0	-1	1	0	1	18	-1	19
	岩手	1	1	0	2	1	3	2	1	29	-8	37
	宮城	5	4	1	1	0	6	4	2	33	3	30
	秋田	0	-1	1	0	-1	0	-2	2	24	3	21
	山形	0	-2	2	0	0	0	-2	2	11	-7	18
北 関	福島	5	5	0	1	-3	6	2	4	37	-7	44
	計	12	8	4	4	-4	16	4	12	152	-17	169
東 京	14	-7	21	7	4	3	21	-3	24	82	2	80
東 関	茨城	3	0	3	3	-6	6	-6	12	78	8	70
	栃木	1	0	1	3	-1	4	-1	5	48	15	33
	群馬	3	0	3	2	1	5	1	4	31	-12	43
	埼玉	12	-4	16	4	-1	16	-5	21	85	-12	97
	千葉	7	0	7	7	0	14	0	14	86	6	80
	神奈川	18	3	15	11	5	29	8	21	72	-1	73
	新潟	1	-1	2	4	2	5	1	4	42	6	36
	山梨	0	-4	4	0	0	0	-4	4	17	3	14
	長野	4	2	2	3	3	7	5	2	46	3	43
東 部	静岡	12	0	12	6	3	18	3	15	88	18	70
	計	61	-4	65	43	6	37	2	102	593	34	559
中 部	富山	1	-1	2	1	0	2	-1	3	21	-3	24
	石川	1	0	1	2	1	3	1	2	26	12	14
	福井	3	2	1	2	2	5	4	1	28	17	11
	岐阜	4	0	4	3	-4	7	-4	11	64	6	58
	愛知	11	2	9	9	4	20	6	14	109	4	105
近 畿	三重	2	0	2	3	-2	5	-2	7	47	11	36
	計	22	3	19	20	1	19	4	38	295	47	248
近 畿	滋賀	2	2	0	1	-2	3	0	3	34	0	34
	京都	6	-3	9	5	-1	6	-4	15	37	-15	52
	大阪	18	5	13	5	-4	9	1	22	73	-5	78
	兵庫	10	-3	13	8	0	8	-3	21	88	7	81
	奈良	1	-4	5	8	7	1	3	6	24	2	22
中 国	和歌山	4	0	4	1	-5	6	-5	10	20	-4	24
	計	41	-3	44	28	-5	33	-8	77	276	-15	291
中 国	鳥取	1	1	0	0	0	1	1	0	13	-1	14
	島根	0	-2	2	0	0	0	-2	2	13	-10	23
	岡山	4	-2	6	2	-1	3	-3	9	58	5	53
	広島	6	4	2	4	1	3	5	5	56	3	53
	山口	2	1	1	3	3	0	4	1	25	7	18
四 国	計	13	2	11	9	3	6	5	17	165	4	161
四 国	徳島	2	2	0	2	1	1	3	1	24	12	12
	香川	0	0	0	2	-1	3	-1	3	23	-2	25
	愛媛	2	0	2	2	-2	4	-2	6	33	1	32
	高知	1	0	1	2	-3	5	-3	6	21	-5	26
	計	5	2	3	8	-5	13	-3	16	101	6	95
九 州	福岡	6	1	5	3	0	3	1	8	70	-5	75
	佐賀	1	0	1	1	0	1	0	2	19	1	18
	長崎	2	1	1	0	-2	2	-1	3	25	6	19
	熊本	8	6	2	3	-2	5	4	7	40	-1	41
	大分	2	-1	3	0	-3	3	-4	6	29	9	20
	宮崎	1	0	1	1	-1	2	-1	3	25	3	22
	鹿児島	3	3	0	4	1	3	4	3	45	10	35
九 州	沖縄	8	5	3	2	1	1	6	4	21	2	19
	計	31	15	16	14	-6	20	9	36	274	25	249
合 計	206	20	186	133	-9	142	339	11	328	2,004	70	1,934

〈公益目的支出計画実施完了の確認書〉(写)

府 益 担 5 2 9 8 号

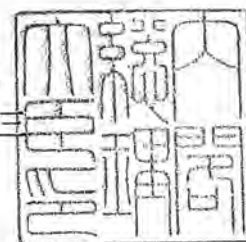
平 成 2 5 年 7 月 8 日

一般社団法人全国二輪車安全普及協会

代表者 福井 威夫 殿

内閣総理大臣

安倍 晋三



公益目的支出計画の実施完了の確認書

貴法人から平成25年5月14日付けでされた、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第124条の規定に基づく公益目的支出計画の実施が完了したことの確認の請求について、公益目的支出計画の実施が下記の日に完了したことを確認します。

記

公益目的支出計画の実施が完了した日 平成25年3月31日

編 集 後 記

平成25年度定時総会は、定例議案に加えて、平成24年4月に一般社団法人に移行に伴い実施してきた、平成24年度公益目的支出計画実施報告及び実施完了の内閣総理大臣への申請についても承認され、滞りなく終了いたしました。御出席されました皆様方に御礼を申し上げます。

なお、この公益目的支出計画実施完了の確認書は、平成25年7月8日付で内閣総理大臣から交付

を受けました。

これにより、当協会も新たなステージに歩を進めることとなりますが、今後とも、関係団体の皆様方とより一層密接な連携強化を図り、活動の効率化と活動内容の充実を図って参ります。

職員一同、常に「前へ」の気持ちで取り組んでまいりますので、皆様方のより一層のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。